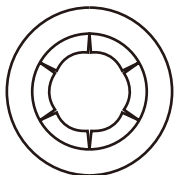


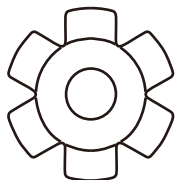
3 | プッシュナット

プッシュナットの種類（特徴・使用上の注意点）

① プッシュナット軸用



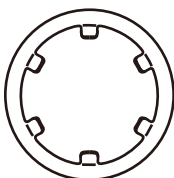
② プッシュナット穴用



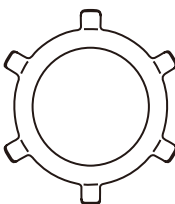
特徴

- 軸(穴)にスラスト方向(軸(穴)に対して平行方向)から挿入することで、相手軸(穴)にプッシュナットの爪部が食い込み抜け止めとして使用出来ます。
- 溝加工をする必要がなく、本製品は自由な位置で固定することが出来ます。
- 丸形スピードナット及びCS形止め輪に比べスラスト荷重が大きくなっています。

③ CS形止め輪



④ CR形止め輪



特徴

- プッシュナットに比べ、挿入力が低く、相手軸をキズ付けにくい形状となっています。
- プッシュナットより外径が小さくなっています。
- プッシュナットに比べ、スラスト荷重は小さくなります。

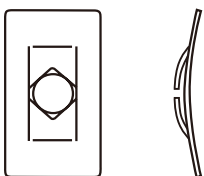
⑤ 丸形スピードナット



特徴

- スラスト荷重は、プッシュナットとCS形止め輪の間となります。
- CS形止め輪に比べ爪が長いため、挿入時の芯ずれを気にする必要はありません。
- 軸用のみとなります。

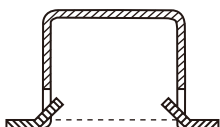
⑥ P形スピードナット



特徴

- 製品全体を弓状に湾曲させることでばね作用を持たせ、相手物を押えつけた(ガタのない)状態で締結させることが出来る製品です。
- 軸用(スタッド用)のみとなります。

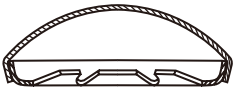
⑦ キャップナットF形



特徴

- 相手軸の端面を保護することによって、軸端面での引掛け事故(キズ、怪我)を防止します。
- 主に装飾用に用いられます。

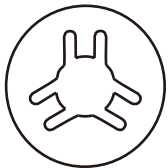
⑧ キャップナットD形



特徴

- 相手軸の端面を保護することによって、軸端面での引掛け事故(キズ、怪我)を防止します。
- 主に装飾用に用いられます。
- プッシュナットとキャップの複合製品です。

⑨ フラットプッシュナット



特徴

- プッシュナット、CS形止め輪、丸形スピードナットとは異なり、爪が曲がっていないため裏・表の区別がなく、自動化が図りやすくなっています。
- スラスト荷重は、プッシュナットとCS形止め輪の間となります。
- 挿入時の芯ずれを防止するガイドが付加されています。
- 軸用のみとなります。

使用上の注意点

- ① 相手軸(穴)の硬さが硬い、或いは硬い被膜が出来る表面処理(ニッケルめっき、クロムめっきなど)が施されていると、本製品と相手軸(穴)の硬度差がなくなり相手軸(穴)に爪が食い込まなくなるためスラスト荷重が低下します。
- ② 相手物の抜け防止を目的としており、相手物への予圧(相手物を常に押さえ込む力)は発生していません。但し、P形スピードナットは、相手物を押えこむ力が発生します。
- ③ 相手物の修理・メンテナンスを行う場合、相手軸(穴)から製品を変形(破壊)させて取り外すため、再使用することは出来ません。
- ④ 相手軸(穴)への挿入時、製品の爪に挿入治具が掛からない様に挿入してください。爪が変形して相手物を固定出来ない恐れがあります。
- ⑤ 相手軸(穴)への挿入時、斜めに挿入しないでください。正しく挿入した場合に比べスラスト荷重(抜け力)が低下する恐れがあります。
- ⑥ 軸用の製品に、絶対に指を入れないでください。指から抜けなくなり非常に危険です。